

受 験 番 号					

清和大学入学試験（一般選抜Ⅱ期）問題 注 意 事 項

本問題は以下の教科・科目で構成されている。

教 科 ・ 科 目	試 験 時 間
「英語」・「国語」・「公共」・「小論文」 ※上記4科目から1科目選択して解答すること。 ※2科目以上解答した場合には、 高得点の1科目 を判定に用いる。	45 分

- 1 試験が終わるまで、監督者の指示に従うこと。
- 2 試験開始の指示があるまで、問題冊子を開いてはいけない。
- 3 落丁、乱丁、印刷不鮮明等の箇所がある場合は、監督者に申し出ること。
- 4 試験開始後、最初に、問題冊子の受験番号欄に受験番号、解答用紙2枚両方に受験番号と氏名をそれぞれ、すべて記入すること。記入漏れは無効となる。
- 5 解答用紙記入上の注意
 - ① 解答用紙は、指定された解答欄に解答を記入すること。それ以外の部分には、何も記入しないこと。
 - ② 解答用紙への記入は黒鉛筆またはシャープ・ペンシルで行い、訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消すこと。
 - ③ 解答用紙は、汚したり、破ったりしないこと。
- 6 試験時間中の退室は認めない。
- 7 問題冊子、解答用紙は持ち帰ることができない。

【英語】

I. 次の文章を読んで以下の〔設問 1〕から〔設問 11〕に答えなさい。文章の左にある①～⑦は段落の番号を表している。なお、文末に「語句説明」がある。

① Two Japanese scientists among this year's Nobel laureates shared the view on Monday that humans are still necessary 【 a 】 the rapid evolution of artificial intelligence, during a forum at their alma mater, Kyoto University.

② It was the first public dialogue (ア) between Shimon Sakaguchi and Susumu Kitagawa since they received the Nobel prizes in medicine and chemistry, respectively (イ), last month. Both are 74 years old and entered Kyoto University in the same year, 1970.

③ Kitagawa, a distinguished professor at Kyoto University, noted that 【 b 】 AI is highly useful, "human input is still needed." He gave an example, saying that although AI excels at producing output 【 c 】 theses, people are required to feed it data.

④ Sakaguchi, a distinguished professor at the University of Osaka, agreed, saying, " 【 d 】 , not something that uses us." He said AI can improve medical diagnoses but added, "Humans decide what's new and important in research." (ウ)

⑤ Both laureates experienced campus unrest during their university years, when classes and exams were often suspended (エ). Kitagawa recalled that the situation provided them 【 e 】 time to read widely and study various languages.

⑥ Chinese philosopher Zhuangzi's teaching on the "usefulness of uselessness" (オ), which he encountered as a student, continues to influence Kitagawa's research today, he said.

⑦ He expressed hope that young people will also engage with philosophy and literature during their studies, saying it will deepen their understanding of science.

Sakaguchi, who paints as a hobby, agreed that exposure to the humanities enriches scientific thinking, saying, "Science and art are similar."

「語句説明」 Nobel laureates: ノーベル賞受賞者, alma mater: 母校、出身校,
improve: 改善する、進歩させる, exams: 試験, literature: 文学

出典 : <https://mainichi.jp/english/articles/20251111/p2g/00m/0sc/012000c>

〔設問 1〕 本文第 1 段落の 【 a 】 に入るものとして適切なものはどれか。

- ① through ② across ③ despite ④ after

〔設問 2〕 本文第 2 段落の下線部(ア)の単語の意味として間違っているものを選びなさい。

- ① interchange ② conclusion ③ discussion ④ discourse

[設問3] 本文第2段落の下線部(イ)の意味としてふさわしいものはどれか。

- ① それぞれ ② 素晴らしく ③ 誇らしく ④ 一括して

[設問4] 本文第3段落の【 b 】に入る接続詞として適切なものはどれか。

- ① because ② while ③ when ④ if

[設問5] 本文第3段落の【 c 】に入るものとして適切なものはどれか。

- ① such as ② as if ③ in that ④ even

[設問6] 本文第4段落の【 d 】に、次の単語を並び替えて入れ、正しい英文を完成させなさい。

" [something / used / AI / is / to / be] ,

[設問7] 本文第4段落の下線部(ウ)の内容としてふさわしいものはどれか。

- ① 人間とは何かという哲学的な問を決定することが重要だ。
② 人間は新しいものを生み出すことができるし、人間は常に判断する生き物だ。
③ 重要な研究というのは、新しいことを吸収することのできる人間の能力の結果だ。
④ 研究において何が新しく、何が重要かという価値判断を下すのは人間である。

[設問8] 本文第5段落の下線部(エ)の言いかえとして適切な語を選びなさい。

- ① passed ② used ③ interrupted ④ had

[設問9] 本文第5段落の【 e 】に入る前置詞として適切なものはどれか。

- ① to ② with ③ from ④ for

[設問10] 本文第6段落の下線部(オ)"usefulness of uselessness"を表すものとして適切なものはどれか。

- ① 役に立たない、無駄に見えるものは、今後も必要ないので捨て去ってしまえ。
② 役に立つか、役に立たないかは分からないものだ。
③ 一見役に立たない、無駄に見えるもののの中にこそ、本当に大切な価値や本質的な役割がある。
④ 一見役に立たない、無駄に見えるものは価値がなく、つまらないものだ。

[設問11] 本文全体の内容をふまえて、AI技術の発展と人間について、自分の考えを日本語150字で述べなさい。

II. 以下の設問に答えなさい。

[設問 1] 次の英文の () に入るものとして適切なものを選びなさい。

Smartphones are () by many people all over the world.

- ① used ② use ③ using ④ uses

[設問 2] 次の英文の () に入る関係詞として適切なものを選びなさい。

I will never forget the day () I first met my best friend in high school.

- ① which ② when ③ where ④ why

[設問 3] 次の英文の () に入るものとして適切なものを選びなさい。

If I () more free time, I would travel around the world.

- ① have ② am having ③ will have ④ had

[設問 4] 次の英文を読んで、「世代」という意味の英単語を () に書きなさい。

The younger () is not afraid of computers.

[設問 5] 次の英文を日本語に直してください。

The human essence is the power to feel empathy for others.

[英語出題 以上]

【国語】

【1】以下の文章を読んで、各問いに答えなさい。

私たちの社会において、(A) 情報発信・摂取のためのツールとしてソーシャルメディアが重要な位置づけを占めるようになって久しい。いまやソーシャルメディアは、私たちの日常的な情報流通の(B) インフラストラクチャーといっても過言ではない。それは、民主政システムにおける一大イベントである「選挙」にとっても同様である。そんな中、インドネシアでは、政治家（選挙候補者）がショート動画でダンスを踊っている。これは現代の選挙におけるメディア利用の実態に関する興味深く、そして象徴的な事象であろう。2024年に行われた同国の大統領選において、正副大統領候補のうちプラボウォ氏とギブラン氏のペアが勝利を収めたが、その背景にT i k T o kを用いたブランディング戦略があったとされている。TikTokはインドネシアでも若い世代を中心に多数のユーザーを抱えているが、調査によれば、選挙期間中、TikTokでは先のプラボウォ氏とギブラン氏に関する動画が圧倒的な再生数とダウンロード数を誇っていたという。調査対象のうち、選挙期間中に最も再生数が伸びていたのは、「軽妙な音楽をバックにプラボウォ氏が踊り、ギブラン氏がそれを(ア) ハクシュして盛り上げようとしている動画」だった。

政治を語るうえで欠かすことのできないニュースを得る過程の変化にも目を配る必要があるだろう。アメリカの調査結果では、いまやアメリカの成人の約5人に1人はTikTokでニュースを得るようになっており、特に18～29歳の若い世代の場合、その割合は43%に達している。さらに、30歳未満の成人の37%がニュース系インフルエンサーから定期的にニュースを摂取している。もちろん、日本においてショート動画が選挙運動やニュースの摂取にどのような影響を与えるかは、より詳しく精査していく必要はある。そもそも一口にソーシャルメディアといっても、サービス設計によって利用形態やユーザー体験、そして利用している世代に(あ) 隔たりがあることに注意が必要である。

現代のメディア環境においては、アテンション・エコノミーと呼ばれる経済(イ) ゲンリが強く影響を及ぼしている。私たちのアテンション（注目）は、有限稀少であり、外部からの刺激に弱く、主として経済的な価値を持ち、そして競合的な側面を有している。そこで、有権者からの支持に結びつけるために、政治家やその支援者たちもまた現代のメディア環境において、アテンションを少しでも多く獲得しようと行動する。堅苦しいイメージを脱色するために、政治家がダンスを踊る動画で、注目を集めて「ファンダム」を形成するのは、その意味では理にかなっている。そしてアテンションを得るための手段は、何もダンスだけではない。感情（特に「怒り」）をより刺戟する党派的に【 I 】な内容のコンテンツも、アテンションを稼ぐには有利である。(C) まさに選挙、そして民主政治において、私たちは「刺戟」の時代に突入しつつある。

ところで、民主政システムにとって、自由かつ多様な表現活動に基づく世論形成過程が不可欠であり、そのために表現の自由が手厚く保護されるべきであるという点は我が国の最高裁判所も判示している。「我が国の憲法が採用する議会制民主主義は、選挙人が、選挙権を行使する際の判断材料である候補者の人物、識見、政見等に関する情報を自由かつ均等に取得して、選挙権を適切に行使することができることを前提としている」のであり、「民主主義的な自己(い) 統治の実現のためには、表現の自由の保障が欠かせない」といえる。同時に「国民が国政に関与するにつき、重要な判断の資料を提供し、国民の『知る権利』に奉仕するもの」とされている報道機関による報道はもちろんのこと、放送もまた「国民の知る権利を実質的に充足し、健全な民主主義の発達に寄与するものとして、国民に広く(ウ) フキ्यूされるべきもの」と位置づけられている。このような報道の自由は、人々が個々の信念に基づき自由闊達な意見の交換を行う言論の自由とは異なり、「潜在的に横暴性を持つ政府に抵抗する我々の集団的な能力を防護し、さらに政府の共和制形態という我々の共同的権利を保護する」ためのものである。そのために、報道の自由は、権力を有するものを継続的に監視し、報道価値判断によって民主政の一翼を担う国民にとって【 II 】な情報のファシリテートを行う報道機関、すなわちジャーナリスト集団に様々な特権と責務を与えている。

様々な選挙運動に関する制限規定を設けている公職選挙法は、新聞や雑誌について、「選挙に関し、報道及び評論を掲載するの自由を妨げるものではない」とさだめ、放送についても「選挙に関する報道又は評論について放送法の規定に従い放送番組を編集する自由を妨げるものではない」とさだめている。他方で、それぞれの規定は、「虚偽の事項を記載し又は事実を(う) 歪曲して記載する等表現の自由を濫用して選挙の公正を害してはならない」、「虚偽の事項を放送し又は事実をゆがめて放送する等表現の自由を濫用して選挙の公正を害してはならない」という但書を置いているほか、新聞などの不当利用制限や新聞広告規制も設けられている。こうした選挙の公正性を確保するための規制の存在は、これまでの選挙において(D) 新聞や放送といった報道機関が果たす役割が決して小さくなかったことの裏返しであると見て取ることができよう。

日本の(エ) チョッキンの選挙に目を向けると、選挙期間中の偽・誤情報が問題視されたが、重要だったのはそこだけではない。むしろ放送や新聞が選挙期間中に有権者に候補者等に関する情報を十分に提供できていない、「報道の空白」が問題視されている。放送法は番組編集準則を定めているが、そのうちの政治的公平原則と関連して、選挙期間中の放送について、量的公平性が重視されてきた。ここでいう量的公平性は、放送番組内における政治家・候補者等の発言回数や発言時間の配分という形式的側面からの公平性への配慮を意味していた。しかしながら、こうした量的公平性への過剰な配慮や候補者からのクレームに対する恐れが、結果的に報道を(え) 萎縮させ、過少(オ) キョウキュウすることとなり、「空白」を生んだのではないかと考えられる。こうして生じた「空白」を埋めたのがYouTubeであった。ソーシャルメディアは、放送法のような規律はかかっておらず、(インターネット有料選挙広告等の規制はあるものの)公職選挙法でも特別な規律はあまり課せられていない。そして、こうしたチャンネルで流されたものの中には、真偽不明の情報や攻撃的で極端な主張が含まれていたことは言うまでもない。国民に提供されるべき選挙に関する報道の空白と、感情を刺戟し、極端な主張が流通しやすいメディア環境は、現代の民主政プロセスが向き合わざるを得ない大きな課題(の1つ)といえる。

ところで、しばしば誤解されがちであるが、オールドメディアと揶揄される報道機関の報道とソーシャルメディアは【 III 】に独立して存在し、対立しているわけではない。テレビ番組を直接、テレビ受像機で視聴する機会は確かに減少しているかもしれないが、私たちはネット上で、それらのコンテンツに触れている。新聞の報道は、ソーシャルメディア上でも流れているし、ニュースポータルサイトにも並んでいる。違法にアップロードされたテレビの切り抜き動画も含め、私たちは意外なところで報道機関のコンテンツに触れている。逆に報道機関がソーシャルメディア上の情報を「話題」として取り上げることも多い。むしろソーシャルメディアのユーザー生成コンテンツとオールドメディアのコンテンツは、ソーシャルメディアというプラットフォームでつながっているのである。

これは、先に挙げたアテンション稼ぎの争いから、報道機関が発信するプロフェッショナルなコンテンツも決して無関係ではいられないことを意味する。特に、アテンションを稼ぐことが重視されるメディア環境においては、ますます「独立性、バランス性、透明性、誠実性、正確性など、ジャーナリズムが本来備えておくべき価値が、……(お) 劣位に置かれる」ことになる。こうした中で私たちが真剣に考えなければならないのは、アメリカ連邦最高裁判所の裁判官がかつて述べた「静穏と熟考の機会」の確保である。これらの機会が確保されなければ、思想の自由は【 IV 】な言葉となるばかりか、その思想の自由がなければ、「自由な社会」も成り立たない。現代的に言えば、まさにアテンションを執拗に稼ぐための刺戟的な手法から、適切に距離を保ち、理性的に熟考する環境をいかにして確保するかが肝要となる。例えば公職選挙法の中には、候補者等による連呼行為の制限をはじめとして、票の獲得のために過度に情実を刺戟するような手法を用いることを制限して、選挙の公正性を確保することを試みた規定もある。こうした「静穏」を確保するための規制は、場合によっては表現の自由と衝突するため、メッセージの内容に極力触れることがないように、設計される必要があるだろう。同時に、私たちが「熟考」をすすめるためには、その参考資料たる「報道」も欠かせない。

では、報道機関自身は、そのような機会を国民に提供できているのだろうか。

ソーシャルメディアは、アテンション・エコノミーが強く作用するため、偽・誤情報や極端な意見が、実態以上に目立ちやすい「歪んだ鏡」として機能している。そのため、報道機関がソーシャルメディアで「話題」となっている言説を、さも「世論」かのように取り上げることで、そうした言説を増幅する場合があり得る。このように「刺戟」の時代においては、報道機関自身、刺戟から適切な距離を確保したうえで、民意の「探求」がますます求められる。有権者が求めている政治課題は何か、争点はどこにあるか。それは極端な意見が増幅されるソーシャルメディアではなく、むしろそこで意見を述べたり、反映することができていない「サイレント・マジョリティ」から拾い上げることが必要である。

そして、こうした報道機関の機能は、何も報道機関自身の努力によってのみ達成されるわけではない。公正取引委員会の調査報告書でも、「ニュースコンテンツが消費者に適切に提供されることは、民主主義の発展において必要不可欠であり、また、消費者における自主的かつ合理的な商品等の選択を通じた公正な競争環境の確保に資することから、様々な取組を通じて、消費者が質の高いニュースコンテンツを享受することができる環境が、将来にわたって持続的に発展していくこと」が期待されると指摘している。読者諸氏も、目の前の偽・誤情報にどう対処するか、ばかりに気を取られるのではなく、ぜひ私たちの民主政システムを支える(E)「静穏と熟考」のための環境デザインにも、思いを巡らせてほしい。

(注) 本文中の「刺戟^{しげき}」という語は、「刺激」とほぼ同義と理解して支障ない。

(問1) 下線部(あ)～(お)の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

(問2) 下線部(ア)～(オ)のカタカナを漢字に直しなさい。

(問3) 空欄【 I 】～【 IV 】にあてはまる語を以下の①～④の中から選び、それぞれ、記号で答えなさい。

- ① 空虚 ② 必要 ③ 極端 ④ 別個

(問4) 下線部(A)について、なぜ、重要な位置づけを占めている、ということになるのか。その理由を簡潔に説明しなさい。

(問5) 下線部(B)について、日本語に置き換えるとどういう意味になるか。以下の①～④の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ① 媒介 ② 夾雑物 ③ 基盤 ④ 中枢

(問6) 下線部(C)について、筆者は、現状をどのように捉えているのか。具体的に説明しなさい。

(問7) 下線部(D)について、筆者は、報道機関はどのような役割を果たすべきであると考えているのか。簡潔に説明しなさい。

(問8) 下線部(E)について、筆者は、なぜ、民主政システムにとって「静穏と熟考」が極めて重要と考えているのか。その理由を簡潔に説明しなさい。

(問9) 本文の内容全体を読んだうえで、あなた自身の意見あるいは感想を150字以内で述べなさい。

【2】＜意味＞に対応する表現として、より適切な（あるいは、日本語における本来的な）ものは、（ア）、（イ）のいずれであるか。それぞれ、記号で答えなさい。

① ＜意味＞ 暮らしが貧しくなれば、心まで貧しくなるものだということ。

（ア） 貧すれば窮する

（イ） 貧すれば鈍する

② ＜意味＞ 常に心にかけること。

（ア） 念頭に入れる

（イ） 念頭に置く

③ ＜意味＞ 後の物事が円滑に進むように、前もってそれとなく準備しておくこと。

（ア） 伏線を張る

（イ） 伏線を引く

【3】次の空欄（ア）～（エ）に、＜選択肢＞の中から適切なものを入れて、四字熟語を完成させなさい。

① 快刀（ア）

② 質実（イ）

③ 百家（ウ）

④ 無味（エ）

＜選択肢＞

暗鬼	一遇	遠慮	乾燥	気鋭	鬼没
剛健	碎身	争鳴	道断	与奪	乱麻

【4】次の意味に対応する語句として適切なものを、＜選択肢＞の中から1つ選び、それぞれ、記号で答えなさい。

① 種類・分野・領域のこと。文芸、その他芸術の世界で使われることが多い。

② 言葉や感情などの微妙な意味合い。あるいは、微妙な差異。

③ 小説・演劇・映画などの話の筋立て・骨組み、構想のこと。

＜選択肢＞

（ア） アイロニー

（イ） アナロジー

（ウ） アイデア

（エ） コンセプト

（オ） コンテキスト

（カ） ジャンル

（キ） ニュアンス

（ク） パラグラフ

（ケ） プロット

【公共】

【1】以下の各問いに答えなさい。

(1) 以下の(ア)～(エ)に当てはまる出来事を<選択肢>A～Fの中から選び、記号で答えなさい。

- 1946年 (ア)
- 1951年 (イ)
- 1956年 (ウ)
- 1961年 「ベルリンの壁」の建設が始まる
- 1966年 中国で文化大革命が始まる
- 1971年 ニクソンショック
- 1976年 (エ)

<選択肢>

- A：サンフランシスコ平和条約に調印する
- B：ロッキード事件が、大きな政治問題となる
- C：日ソ共同宣言
- D：日本国憲法公布

(2) 人類の長い歴史において、独裁政治・専制政治が、往々にして、国民にとっては苛政となつたことから、近代・現代になり、各国の憲法において、国家権力を「立法(権)・行政(権)・司法(権)」の3つに分け、三権相互の「抑制と均衡」(〇〇〇〇・アンド・バランス)が働く仕組みが取り入れられることになった。文中の〇〇〇〇に当てはまる語をカタカナ4文字で答えなさい。

(3) 以下のA～Fの6つの語句・説明の中から、日本国憲法に関するものとして、適切なものを3つ選び、記号で答えなさい。

- A：国民主権 B：天皇主権 C：硬性憲法 D：軟性憲法
- E：昭和天皇によって発布された F：明治天皇によって公布された

(4) 以下のA～Dの4つの説明の中から、日本国憲法の規定において、条文として明記されている事柄を1つ選び、記号で答えなさい。

- A：日本国籍を有する者が、満18歳に達すると選挙権(投票権)が行使できる。
- B：国会は、衆議院と参議院から構成される。
- C：内閣総理大臣は、衆議院を解散する権限を有している。
- D：裁判制度では、三審制が採用されている。

(5) 2007年に設置され、2011年から本格的に活動を開始した、憲法〇〇会は、国会において、常時、憲法に関する議論をするための機関である。文中の〇〇にあてはまる語として正しいものを次の①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 検査 ② 検討 ③ 審査 ④ 調査

(6) 現在の日本政府に存在する組織として正しいものを次の①～④の中から、1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 元老院 ② 枢密院 ③ 総理府 ④ 内閣府

- (7) わが国では、これまで、ロッキード事件、リクルート事件を代表に、たびたび、「政○財の癒着」が大きな政治問題となってきた。他方で、日本のような自由主義社会において、たとえば日本経済団体連合会（経団連）、日本医師会、全国農業者農政運動組織連盟などの様々な●●集団（圧力団体ともいう）の政治的活動をどのように規律すべきであるのかということは、解決困難な課題ともいえる。○、●●に当てはまる語を、それぞれ、漢字1文字、漢字2文字で答えなさい。

【2】以下の各問いに答えなさい。

- (1) 1953年に制定された【 】にはハンセン病患者を強制隔離する規定があり、1996年に同法が廃止されるまで国による不必要な隔離政策が続けられた。現在は、隔離されたハンセン病元患者の社会復帰支援、名誉回復のための措置などが図られている。文中の空欄に当てはまる法律を次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 脚気（かっけ）予防法 ② 結核予防法
③ 水俣病予防法 ④ らい予防法

- (2) 日本国憲法の第27条で勤労権（働く権利）、第28条で労働三権、すなわち、団体権・団体交渉権・団体行動権（争議権ともいう）が定められている。これらを総称して「労働○○権」という。また、これらの権利を具体的に保障するため、労働基準法、労働●●法、労働関係調整法のいわゆる「労働三法」が制定された。○○、●●に当てはまる言葉を、それぞれ、漢字2文字で答えなさい。

- (3) 日本国憲法の規定上、条文として明記されている権利を次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① プライバシーの権利 ② 環境権 ③ 幸福追求権 ④ 知る権利

- (4) 日本国憲法第13条は「すべて国民は、個人として尊重される。」と規定する。その趣旨に照らし、一人ひとりの個人がもつ、様々な違いを互いに認め合い、それぞれの個性を最大限に発揮できる環境を整え、真に多様性の尊重される社会にしていけることが求められる。そこでは、すべての人々を孤独・孤立・排除・摩擦などから援護・サポートし、社会の構成員としてつつみ支え合う【 】の姿勢が、私たち一人ひとりに求められることになる。文中の空欄に当てはまる言葉を次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① アイデンティティ ② ケイパビリティ
③ シンギュラリティ ④ ソーシャルインクルージョン

【3】以下の各問いに答えなさい。

- (1) 1990年代以降、経済活動のグローバル化が急速に進展し、より安価な労働力・原材料などを求めて、海外に生産拠点を移したり、海外企業に生産やサービスを委託したりしたことに伴い、日本の国内産業に重大な○○が生じた。これを「産業の○○化」という。○○にあてはまる語句として正しいものを次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 陥没 ② 空洞 ③ 真空 ④ 廃墟

(2) 高校生や学生などが就職をする前に希望する企業や官公庁などで、「就業体験」を行うすることを〇〇〇〇〇シップという。これにより、雇用のミスマッチやそれに伴う早期退職を減らすことにつながることを期待されている。〇〇〇〇〇にあてはまる言葉をカタカナ5文字で答えなさい。

(3) 災害や病気、景気変動などのリスクに対して、国家などがサポートする仕組みを「公助」という。一方、個人があらかじめ想定されるリスクに対しての自ら必要な備えをしておくことを「自助」という。その中間にある、親族・会社・地域などの様々なコミュニティにおいて、その構成員が互いに助け合うことを「〇助」という。〇を、漢字1文字で適切に埋めなさい。

(4) 1980年代後半から、非正規雇用が増えたこともあり、日本の労働問題のうち、特に深刻なものの1つとして、懸命に働いても生活保護水準以下の収入しか得られないワーキング・〇〇（働く貧困層）が存在することである。〇〇にあてはまる言葉をカタカナ2文字で答えなさい。

【4】以下の各問いに答えなさい。

(1) 以下の①～③の文中の下線部の語句の中に、1つだけ誤りがある。それはどれか。①～③の記号で答えなさい。

- ① イラクが隣国のクウェートに侵攻したため、1991年に、アメリカを中心とする多国籍軍はイラクを攻撃し、クウェートを解放した。(湾岸戦争)
- ② 2001年9月11日、アメリカのニューヨークで、世界貿易センタービルなどが攻撃される同時多発テロ事件が発生した。そのあと、アメリカはアフガニスタンのタリバン政権に対する攻撃を行った。
- ③ 2003年、アメリカは、イラクのアサド政権が大量破壊兵器を隠していると疑い、武力攻撃を行った。(イラク戦争)

(2) 【 】では、同国の西部のラカイン州北部に住むイスラム系少数民族のロヒンギャ族が、国籍が与えられないなどの差別に長年苦しんできた。2017年にラカイン州で起きた軍事衝突が起きたのをきっかけに、多くのロヒンギャ族の人々が同国を逃れ、隣国のバングラデシュなどに避難した。空欄に当てはまる国を次の①～④の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① カンボジア ② ベトナム ③ ミャンマー ④ ラオス

(3) 〇〇〇人は、トルコ、アルメニア、アゼルバイジャン、イラン、イラク、シリアに国境をまたいで居住する民族である。彼らは、独自の言語と文化を持ち、長年にわたり差別や迫害を受けてきた。特にトルコでは、政府による様々な弾圧が続いており、安全な生活を求めて国外に移住する人たちも多い。人口は推定で、3,000万～4,800万人とされ、「国家を持たない世界最大の民族」ともいわれる。日本では、2020年代に入り、急速に増加し、現在、埼玉県南東部に2,000～3,000人近く居住していると推定される。〇〇〇に当てはまる民族名をカタカナ3文字で答えなさい。

【5】以下の各問いに答えなさい。

(1) アメリカの法哲学者ノージックは、主著『アナーキー・国家・ユートピア』において、いわゆる【 】(自由至上主義)と呼ばれる思想を唱えた。空欄に当てはまる語を次の①～④の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① コミュニタリアニズム | ② プロテスタンティズム |
| ③ リバタリアニズム | ④ リベラリズム |

(2) ドイツ生まれのユダヤ系政治哲学者である【 】は、『全体主義の起原』、『人間の条件』などで、公共性の復権を唱えた。空欄に当てはまる人物を次の①～④の中から選び、記号で答えなさい。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① アマルティア・セン | ② ジョン・ロールズ |
| ③ ハンナ・アーレント | ④ ミシェル・フーコー |

【小論文】

【問】以下の文章を読んで、「大型ショッピングモール内のフードコート利用のあり方」について、あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

＜著作権の関係上、掲載不可＞

＜出典＞ https://biz-journal.jp/company/post_384389.html

